# 春休み宿泊体験活動「大樹・開拓キャンプ」実施報告書

1　実施期日　　平成２５年３月２８日（木）～３０日（土）　２泊３日
2　実施場所　　大樹町内
3　宿泊場所　　民泊、大樹町営晩成牧場
4　参加児童　　男１１名、女１８名　　計２９名（小学４～中学１年生）
5　全体指導者　山田由美子（NPO 法人ねおす）
6　活動指導者　有岡　繁、佐々木英暢、夢がいっぱい牧場、源ファーム、まるみ工房
7　スタッフ　　尾針由真、菊池拓実、佐々木祥世
8　事務局　　森事務局長、清原、寺部
9　実施状況

平成２５年３月２８日（木）

○帯広駅受付（１０：２０）

帯広駅集合の参加者受付、１０：３０送迎バスで大樹町に向けて出発。大樹町中央運動公園センターハウスに到着し、荷物を部屋に入れて、持参弁当の昼食を食べた後、名札を作った。

○大樹町受付（１２：００～）

大樹町集合の参加者が各々到着。受付後、荷物を部屋に入れ、名札作り。

○開会式・オリエンテーション（１２：３０～１３：００）

指導者の自己紹介、３日間の活動内容についての話を聞いた後、雪あそびの服装を準備した。

○活動１　牧場で雪あそび（１３：３０～１５：３０）

標高の高い町営牧場へ移動し、牧草地でそりやゴムボートを使い滑って遊んだ。

○民泊に向けて（１５：３０～１６：００）

センターハウスへ戻り、荷物をまとめ、民泊の心得を聞いた。

○対面式（１６：００～）

ホストファミリーと対面、挨拶。記念撮影の後、各家庭へ出発した。

平成２５年３月２９日（金）

○集合（１１：３０）

引き続き、民泊先での時間。トラクターに乗せてもらったり、家畜の世話、食事つくりの手伝いなど、それぞれの家で、それぞれの体験を行い、１１時３０分にセンターハウスに集合した。

各家庭グループ毎に楽しかったこと、聞いてきた仕事へのこだわりを紙にまとめた。

○昼食（１１：４５～）

ビビンバ丼、中華スープ

○活動準備・移動（１２：３０～１３：１５）

午後の活動内容を聞き、４グループに分かれた。大きな荷物はトラックへ積み込み、手荷物を持って各体験場所へ移動した。

○活動２　いただきますに向けて　～仕事！～（１３：３０～１６：００）

原材料に手を加える仕事を従事者（プロ）から教わり、薪や食品を作った。

①薪割り・薪運び

カラマツの丸太をまさかりで割り、薪作り。

②ソーセージ作り（源ファーム）

豚ひき肉にスパイス等を加えてこね、機械を使って腸詰め、形成。

③牛舎見学とコロッケ作り（夢がいっぱい牧場）

牛舎での話を聞き、加工場でいもコロッケ作り。

④いかめし作りとロープワーク（まるみ工房）

４０杯のイカのわたを抜き、もち米を詰めてイカめし作り。炊いている間にもやい結びなど漁業で使用するロープワークを習った。

○移動・自由時間（１０：００～１２：００）

各所から晩成牧場へ集合し、施設の使用注意事項を聞いた後は自由時間とした。調理用の火おこし、コロッケ揚げなど夕食つくりの手伝いをしたり、テント泊希望者はテントを設営した。

○夕食（１８：３０～）

いかめし（午後活動で調理）、豚汁、コロッケ（午後活動で調理）、ししゃもの天ぷら（町内の方から差し入れ）、大根サラダ（民泊先から頂いた大根）

○オリエンテーション（１９：３０～２０：１５）

明日の活動内容を聞き、役割分担を決めた。

○夜の散歩（２０：１５～２０：４５）

希望者は牧草地へ月夜の散歩に出かけた。

○就寝準備・就寝（２１：００）

施設組とテント組に分かれて就寝した。

平成２５年３月３０日（土）

○起床（６：００）

○朝食（７：００～）

オープンサンド、牛乳、バナナ

○荷物整理・施設清掃（８：００～８：４５）

食器セットなど使用するもの以外の荷物をまとめて車に積み込み、施設のゴミ拾いを行った。テント宿泊組はテントを撤収した。

○活動３　いただきますに向けて　～自分のチカラ～（９：００～１１：４５）

チカラを合わせて火おこしから材料切り、調理、炊飯などの昼食作り。

○昼食（１１：４５～１２：３０）

空き缶ごはん、焼きソーセージ、ソーセージと野菜のスープ（ソーセージは２９日午後活動で調理)、じゃがいもおやき（民泊先から頂いたいも)、焼きりんご

○片付け・移動（１２：３０～１３：３０）

トラックにすべての荷物を積み、中央運動公園センターハウスへと移動。

○ふりかえり（１３：３０～１４：００）

保護者の方と一緒にスライドを見ながら、３日間の活動のふりかえり。一人ずつ感想を発表した。

○閉会式（１４：００～)・解散

指導者のあいさつで活動を終了し、解散した。